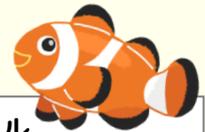


『大学と“まち”のかかわりについて』



上村 真仁 (かみむら まさひと) 氏 プロフィール

□昭和43年(1968年)10月3日生まれ(53歳)

□神戸大学大学院 工学研究科環境計画学専攻 修士課程修了

□(株)三菱総合研究所 地球環境研究センター

□公益財団法人世界自然保護基金ジャパン

WWFサンゴ礁保護研究センター センター長

□平成28年(2016年)より

筑紫女学園大学 現代社会学部現代社会学科 教授 博士(学術)

◇ 上村先生とうめさろんの出会い

うめ:うめさろんスタッフ

上村:上村教授

うめ: 上村先生には、2021年からうめさろんのコーディネーターとして様々な場面でご尽力いただいておりますが、実は最初の出会いは2016年の夏でした。覚えておられますか？

上村: 覚えています。筑紫女学園大学で働く事になったのがその年なのですが、個人的にNGOやNPO活動をしているので色々と市民活動に関心があり、うめさろんを訪ねました。その時はまだボランティア論の授業はしていなかったのですが・・・

うめ: 石垣島のサンゴ礁保全のお話などを聞かせていただいたことを覚えています。

◇ 大学とまちのかかわりについて

うめ: 大学と「まち」「地域」のかかわりについて、どのように考えておられますか？

上村: 太宰府市は市民活動が活発なまちですが、観光都市としての一面もあり課題もあると思います。逆に言うと、学生と一緒に考える良い題材がたくさんあるとも言えます。

うめ: 今までにも学生の皆さんには様々なイベントなどでボランティアに参加していただいていますね。

上村: 参加するだけではまだ十分ではないと感じています。作業レベルではなく、もっと学生の力を活かせるように意見交換しながら活動していくことが良いのではと思っています。学生のポテンシャルはまだまだあるし、もっとまちづくりのダイナミズムを感じて欲しい。

◇ 学生のボランティア活動

うめ:筑紫女学園大学は以前からボランティア活動が盛んな大学だと思いますが、どのような活動をしているのですか？

上村:東日本大震災や九州北部豪雨災害の復興支援ボランティアは現在も継続している活動の一つです。現代社会学部では他にも、五条の築古年のアパートのリノベーションや地域の飲食店などと連携したマルシェの開催、お隣の筑紫野市での夏休み子ども教室の企画に参加したり、福岡市の東部動物愛護センターで活動するなど多岐にわたります。

うめ:いろいろな活動をされているんですね。

上村:ボランティアをしたことがない学生もいますが、ぜひ興味ある活動に参加してみたいですね。



テーブルの上にあるのは、鹿の角
筑紫野市御笠コミュニティセンターの方が
宝満山で拾い、先生にくださったそうです

◇ 大学とまちづくりの可能性

うめ:先日、私たちも「社会活動実践」の授業に参加させていただきました。

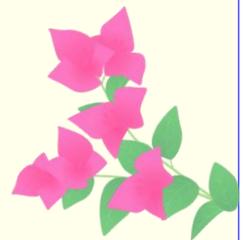
上村:太宰府での活動についてなど詳しくお話し下さり、ありがとうございました。

うめ:ボランティア活動促進のきっかけになれば嬉しいです。

これからの大学と「まち」「地域」の連携についてお話しいただけますか？

上村:学生がいかに学び、まちにどのように貢献するか。座学も大切ですが、私は一緒に現場に出て地域や、まちの人と関わりながら学んでいくことが、まちづくりの活性化につながると思っています。私は今でも喜界島や石垣島に学生と足を運び地域のお手伝いをしています。地域の方のご理解とご協力に感謝しながら、学生も地域に貢献できるよう一生懸命がんばっています。

うめ:若い人たちは独自のアプローチの仕方や、新しいアイデアをたくさん持っていらっしゃいますね。



◇ 最後に

うめ:先生のまちづくりへの思いをお聞かせ下さい。

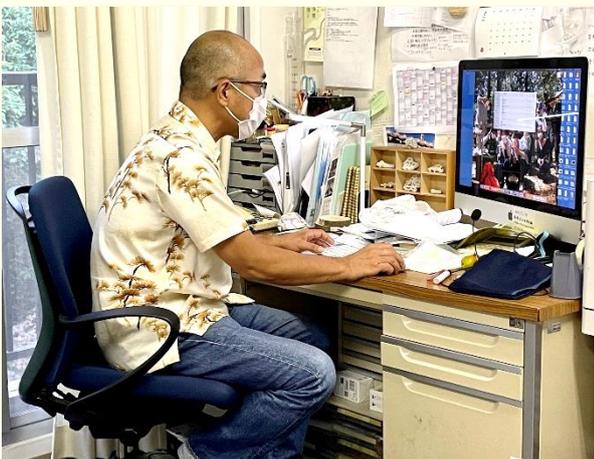
上村:学生や地域の方々と一緒にまちづくりに取り組むことのできる今の仕事はとてもやりがいがあります。まちづくりはひとづくり。試行錯誤しながらもクリエイティブに前進する力を身に付け、地域を担う力を身につけてもらえるように、これからも学生と一緒にまちの中に飛び込んで、地域の皆さんと

かかわり続けたいと思います。

太宰府の皆さんと食事やお酒を飲みながら楽しく、まちづくりについて語り合いたいですね。

うめ:その時はぜひ、私たちにもお声かけくださいね。
熱く語り合しましょう。

※授業でお忙しい中、研究室にてお話を伺いました。
ありがとうございました。



報告

6月の月イチカフェ 「神社と寺」

御朱印はそれぞれに特色があります！



令和4年6月23日(木)に、「神社と寺」をテーマに、月イチカフェを行いました。

太宰府には超有名な太宰府天満宮をはじめ、様々な神社仏閣が数多くありますが、意外とよく知らないまま過ごしていませんか？今回は、その成り立ちや歴史、何が祀られているかなどについて語りあいました。



天開稲荷



戒壇院

また、神宮・大社・神社・八幡宮など、呼称の違いは何なのか、日ごろからの疑問も解消しました。さらに、参加者の御朱印帳を見せてもらうと神社・寺ごとにとても個性的で、大変興味深かったです。

報告

筑紫女学園大学に出前講座に行ってきました



令和4年5月25日(水) 筑紫女学園大学の現代社会学部「社会活動実践」の授業でボランティア・市民活動について出前講座をしてきました。

学生の皆さんには、それぞれに活動したい分野があり、その希望に沿える市民活動は何があるのか、どんな準備が必要なのかを具体的にお話しました。

ボランティア・市民活動 in 太宰府

太宰府でできるボランティア

- ひどい親家庭の児童の学習支援ボランティア【福祉】
- 語学ボランティア募集【国際交流】
- 竹切り・草刈りなど【環境】
- 自然活動のボランティアスタッフ【子ども・環境】
- 子ども食堂ボランティア【子ども支援】
- ボランティアガイドのサポーター【観光】
- 福岡マラソンボランティア【うめさらんチーム】【イベント】
- 災害ボランティア【災害時支援】
- クリーンステーション【市民まつり】【イベント】 他

令和4年5月25日
太宰府市 NPO・ボランティア支援センター



活動 紹介

太宰府 Sing For Life (だざいふ シング フォー ライフ)

今年、8周年を迎えた太宰府 Sing For Life。月に3回、月曜日に筑紫野市生涯学習センター(パープルプラザ)にてワークショップを行っています。

新型コロナウイルスのまん延は、活動に大きな影響がありましたが、対面レッスンとオンラインレッスンを併用して活動を続けています。

私たちはゴスペルを通して、歌う楽しさ・学ぶ喜び・誰かのために歌う心からの感動・様々な社会貢献を目的としています。

Sing For Life プロジェクトとして、老人ホームや児童施設などへボランティアコンサートをご要望に応じて行っています。

レッスンは、毎回は温かい気持ちになる内容で、初心者を中心としたゆっくりしたペースが基本です。私たちと一緒に笑顔と涙と感動を分かち合いませんか？



アンケート回答者プレゼント企画

この「だんぼ通信96号」を読んで、面白かった記事や分かりにくかった点・その他ご意見・ご感想などを下記へお寄せください。お名前・住所・電話番号をお忘れなく。

FAX: 092-918-3644

メール: dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

令和4年8月15日までにご応募頂いた方の中から、抽選で1名様にプレゼント
今回のプレゼントは

三十三茶屋の「星のティーバッグ(水出し煎茶)」と
「不二の梅こぼ茶」です!



太宰府市NPO・ボランティア支援センター「うめさろん」

太宰府市五条3丁目1番1号 いきいき情報センター 2階
平日 10:00~18:00 第2・第4土曜日 12:00~18:00
(休業日 毎週日曜日、祝日、毎月最終水曜日、第1・3・5土曜日
8月13日~15日、12月28日~1月4日)



ホームページ



メール

TEL 092-918-3633 FAX 092-918-3644

MAIL dazaifu-volusen@wish.ocn.ne.jp

H P <http://umesalon.sakura.ne.jp/>